職工を拉し去って
危篤な病人が有るのに歸さぬ

一〇、五、二四大日

職工狩集めに苦心した大電
端なくも人道問題を惹き起す

大電職工の罷業以來數日は經過して復職者も漸次增加の見込であると大電當局では樂觀してゐるが此處に忌しい事實が發見したそれは昨日午前五時頃元兵治川發電所の職工であつた北區大野町渡邊幸太郎氏(三七)の宅が表戸を閉ぢ同時に表に待つてゐた大電の社員五名が自動車を待たせ三名が仲に這入るや「渡邊君居りますか」と言つて二階に登り「一寸會社へ來て呉れ給へ」と云つて渡邊を連行した自動車で安治川發電所に連込んだ所が正午頃職場の親戚某に急病人が出來たので同人の母親は早速發電所に行つて其事情を述べた面會を拒絶されたので老の身の先立つものは涙で泣く〳〵その事情を訴へた所やつと社員に逢つて「では私の方から調査した上で歸します」と言つた返事を得たが當人は夕刻になつても歸つて來なかつた此の事は氣の焦立つて來た母親が其事を渡邊の友人に話した事から端なくも問題となり、神戸より倉川辯護士がやつて來るに至り同氏は友愛會神戸支部主事藤岡氏を、證人として前記渡邊の友人白井某を同行して貰つて、此處に來方を警察部に田中部長を訪ひ訴ふるに端なくも人道問題を惹き起す

つて來ないから偽されたと思つてゐるのだ云々

又友愛會神戸支部主事藤岡氏は語る

「渡邊君の歸らぬ事は事實だが母親が行つてさへ歸さぬのは餘りに束縛し過ぎはせぬかと實川氏と共に來阪して田中部長を訪うた次第だ、兎も角取調べた上の事と言ふ話だからその回答を待つ積りだ」と因に午後九時再び同家を訪ねたが歸つてゐなかつた

骨子の團體權
是だけはと西尾氏の力說
會社がウンと云ふまいと樋口氏

罷工者が會社側に誘拐され組合から取締方を願出

二十日午前市內西區江成町の愛友會本部に前後から筆談を伸ばし度いと申し込んで居た國粹會の副會長で代議士の樋口伊之助氏から使が立ち懇談し度いから是非來て呉れと自働車が待つてゐるので西尾主事が出向くと伊大樋口氏を初め大阪國粹會の幹部連數名が揃つて居て、此處に來方部二十名ばかり顏を揃へ樋口氏から挨拶が有つて西尾氏が從來の經過と友愛會が起つに至つた事情を說明し同會は大正の勃發以來同會として要求四箇條の內團體交涉權だけは是非獲得して後止む積りであるが從來資本家の味方視されて志を貫徹するつもりです」

何處までも
初一念は貫徹

右に就き友愛會に西尾氏を訪へば國粹會が調停しやうとの事で昨日樋口氏宅で會見して仲介者の一方から此邊を調停條項を提出して貰へば友愛會としての意志を活さうと言ふ事にして別れたのですが今後五達の意志では何處までも初一念は貫徹して仲介者の一方から此邊を調停條項を提出して貰へば友愛會としての意志を活さうと言ふ事にして別れたのですが今後五達の意志では何處までも初志を貫徹するつもりです」

一叩拔いて貰ひたいと皮肉交じりに應酬し色々な質問に答へて二時近く引取つたが樋口氏は更に少壯から宮崎社長を招いて懇談し同者の意のある處を知悉した上更も乃もする事となつた同氏は何とか

『吾等は傍觀も
大電罷業者を援く』
大阪汽車會社の職工から
白米廿俵荷車に積で寄贈
會見見合

10,5,19 大日

大阪汽車會社職工百四名は十三日午後四時三十分より同會社講堂に大電罷業職工を應援するため「吾等は傍觀大電罷業者を援助す」と認めた大旗を押し立てゝ白米二十俵氏の宅を訪れた宮崎社長は巧妙な辭令を以て友愛會に依つて代表せらるゝ交涉を避ける爲に仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の荷車に積込んで寄贈し安治川支部へ送る筈である

大電巨頭
田中部長と
官舍に密議

中警察部長は十二日突如歸阪し官舍に籠つたなり各課長と種々密議を凝してゐたが十三日の會議に出席を見合せ警察部長を代理に部長會議に列席せしめ午前中より引籠つて加々美特別高等課長と何事が密議してゐたが其後に至つて大電から宮崎社長が萩原庶務課長と共に官舍に田中警察部長を訪ひこれ又何事か協議してゐた程經て大電取締役島徳藏氏も自働車で駈け付け會見して寄舍を辭したが內容は未だ判明しない

十二日午後大電罷業問題に就いて仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の宅を訪れた宮崎社長は巧妙な辭令を以て友愛會に依つて代表せらるゝ交涉を避ける爲に仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の荷車に積込んで寄贈し安治川支部へ送る筈である

大電巨頭
田中部長と
官舍に密議

中警察部長は十二日突如歸阪し官舍に籠つたなり各課長と種々密議を凝してゐたが十三日の會議に出席を見合せ警察部長を代理に部長會議に列席せしめ午前中より引籠つて加々美特別高等課長と何事が密議してゐたが其後に至つて大電から宮崎社長が萩原庶務課長と共に官舍に田中警察部長を訪ひこれ又何事か協議してゐた程經て大電取締役島徳藏氏も自働車で駈け付け會見して寄舍を辭したが內容は未だ判明しない

十二日午後大電罷業問題に就いて仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の宅を訪れた宮崎社長は巧妙な辭令を以て友愛會に依つて代表せらるゝ交涉を避ける爲に仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の荷車に積込んで寄贈し安治川支部へ送る筈である

十二日午後大電罷業問題に就いて仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の宅を訪れた宮崎社長は巧妙な辭令を以て友愛會に依つて代表せらるゝ交涉を避ける爲に仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の荷車に積込んで寄贈し安治川支部へ送る筈である

十二日午後大電罷業問題に就いて仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の宅を訪れた宮崎社長は巧妙な辭令を以て友愛會に依つて代表せらるゝ交涉を避ける爲に仲裁者國粹會の副會長樋口伊之助氏の荷車に積込んで寄贈し安治川支部へ送る筈である